

平成26年
6月定例会

一般会計補正予算(第2号)等の議案を可決

平成26年第4回(6月)定例会は、現職市議会議員の任期(9月27日)満了前の最後の定例会として、去る6月9日から6月24日までの16日間の会期日程で開かれました。

今回の定例会には、「石垣市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例」等の条例議案6件、「平成26年度石垣市一般会計補正予算(第2号)」等の補正予算議案2件、その他議案11件の計19件の議案が市長より提出され、それぞれ原案のとおり可決されました。

なお、本会議の議決にあたり、総務財政委員会には、「石垣市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部を改正する条例」等3件の議案を付託。経済民生委員会には、「石垣市漁港管理条例の一部を改正する条例」等4件の議案を付託。建設土木委員会には、「平成26年度石垣市水道事業会計補正予算(第1号)」等4件の議案が付託され、慎重審査の結果、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決定されました。

議員提出議案については、「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた環境整備及び地域における取り組みへの支援を求める意見書」、「民間戦争被害者を救済する「新たな援護法」の制定を求める意見書」の意見書2件並びに「路上寝込み防止宣言決議」のあわせて3件の意見書・決議がそれぞれ原案のとおり可決されました。

6月16日から6月19日の4日間の日程で行われた一般質問では、19人の議員が本市の諸課題について質すなど活発な議論が交わされました。

保育所整備費を増額計上 平成26年度一般会計 補正予算(第2号) 可決

6月定例会では、総務財政委員会(平良秀之委員長)に「平成26年度一般会計補正予算(第2号)」など3件の議案が付託され、慎重審査の結果、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決定され、本会議において委員長報告のとおり可決されました。

今回の一般会計補正予算は、既決予算の総額に歳入歳出それぞれ6億9573万6千円を追加し、予算の総額を237億3358万3千円と定めるものです。

その主な歳出の内訳としては、「保育所施設整備費」2億2237万4千円、「林道施設災害復旧事業」5500万円などが計上されており

今回の保育所施設整備費は、定員を新設で80人、増改築で20人それぞれ拡大し、平成27年4月からの受け入れ開始を計画しています。なお、執行当局においては、次年度以降の子ども・子育て支援新制度を見据え

つつ、待機児童の解消に向けた取り組みを集中的に進めることとしております。

解禁期間とサイズを設定 ヤシガニ保護条例 可決

ヤシガニ保護条例は、本市におけるヤシガニの持続的な活用を目指し、適正な資源管理体制の構築と将来にわたる継続的な保護を行うことを目的として、保護区の指定や保護区内における捕獲の禁止、保護区外での解禁期間(9月1日〜11月30日)及び罰則規定等を定めています。



ヤシガニは、レッドリストにおいて絶滅危惧II類に指定されている

捕獲の対象となるのは、胸長40ミリメートル以上55ミリメートル未満のオスのみでメスの捕獲は禁止となります。ヤシガニ資源の枯渇が指摘されるようになって

て久しいですが、ようやく資源保護に向けた取り組みが動き出しました。

漁港管理条例の一部 を改正する条例 可決(賛成多数)

今回の条例改正は、石垣漁港内に整備したフィッシュリーナの供用開始に伴い、ヨットや遊漁船等が施設を使用する場合の使用料金を設定するものです。利用者への説明不足等理由に議員間で賛否両論があつたものの賛成多数で可決されました。



石垣漁港内に整備されたフィッシュリーナ写真の浮棧橋の外に駐艇場有り

監査委員を選任

今定例会の最終本会議において、監査委員として次の方の選任が同意されました。

大濱博文氏